

構成し、設計、営業やCS推進部門などのメンバーを含む社内横断組織「操作性検討委員会」と連携して、グローバルに統一感のある使いやすさの確立をめざします。さらに、OKIグループのユニバーサルデザインのコンセプトを活かし、色覚障がい者への配慮など、アクセシビリティ(高齢者や障がいのある人などへの配慮)の向上にも取り組んでいきます。

■ ウェブサイトのアクセシビリティを強化

OKIは2002年よりウェブサイト製作のガイドラインにウェブ・アクセシビリティの項目を設け、JIS規格や国際標準指針に対応した、誰にとっても使いやすいサイトの構築に努めてきました。

た。その一環として、2011年10月、自社ウェブサイト(日本語版)のトップページおよび企業情報のページを、高齢者や障がいのウェブ・アクセシビリティを確保するための新JIS規格である「JIS X 8341-3:2010」※に対応して改定しました。新JIS規格は、試験によってウェブサイトにおける規格の達成状況を3等級(A, AA, AAA)で評価でき、OKIの対象ページは、AA「一部準拠」であることを確認しています。今後さらに、対応するページを拡大していく予定です。

※ JIS X 8341-3:2010
「高齢者・障害者配慮設計指針 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス第3部：ウェブコンテンツ」。日本工業規格(JIS)が2004年6月に公表したアクセシビリティに関する規格で、2010年8月に改訂された。

2011年度の状況

OKI GROUP

株主・投資家への情報発信

OKIグループは、株主・投資家の皆様に、企業概要、経営戦略、経営成績などの有用な情報を適時・適切に開示するよう努めています。経営の透明性を高め、信頼関係の構築や企業価値の向上を果たせるよう、専任部署であるIR室を中心に、情報開示やIR活動を積極的に推進するとともに、株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のため、インサイダー取引の防止に努めています。

■ 中期経営計画に関する説明を実施

OKIは、市場の声を適切に経営や事業活動に活かすことが経営の効率化と企業価値の向上につながるという認識のもと、社長をはじめ経営陣



決算説明会の様子(2011年5月)

自らが、投資家説明会やIRミーティングなどに出席してコミュニケーション活動を実施しています。2011年度は、5月に実施した決算説明会において社長が2013年度を最終年度とする中期経営計画の状況および2011年度の方針を説明したほか、国内外の機関投資家向けのIRミーティングの機会を増やし、施策実施状況の適時適切な説明に努めました。

■ IRサイトやニュースメールで情報を発信

OKIは、情報開示の公平性を保つため、決算情報をはじめとするさまざまなIR情報を、自社のウェブサイト(IRサイト)に日本語・英語で

ウェブサイト「投資家の皆様へ」
<http://www.oki.com/jp/ir/>

同時掲載しています。投資家の皆様にとってより使いやすいサイトをめざし、2011年10月には日本語版サイトを、2012年1月には英語版サイトをリニューアルしました。さらに2012年3月には日本語版サイトにおいて個人投資家向けサイトの充実を図るなど、継続的な改善に努めています。

また、決算情報や証券取引所へのファイリング情報、新商品・サービスなどのプレスリリース情報、IRサイト更新情報などを電子メールで配信する「OKIニュースメール」(日本語・英語)を、機関投資家やサイト上から登録いただいた方など、約1,500名の方々に随時配信しています。

今後も会社法や金融商品取引法、東京証券取引所の適時開示に関する規則などの改正に的確に対応しながら、より迅速でわかりやすい情報発信に努めていきます。